

Casting Our Eyes  
on the Future

視線はまっすぐ未来へ

株式会社 **アーレスティ**

証券コード：5852

第**97**期 期末  
株主通信

2017年4月1日▶2018年3月31日



## 社長メッセージ 株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
当社グループの現状と今後の展望についてお答えします。  
なお、第97期の業績については3ページ以降をご覧ください。  
今後とも、皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

### 第97期の振り返りと今後の展望

#### Q1 第97期の振り返りをお聞かせください。

インドの黒字化、中国での需要増加などによりアジアは増益となりましたが、アメリカ、栃木工場での生産性改善の遅れなどから全体では減益となりました。改善のためのプロジェクト等を推進しており、改善が進みつつあります。

2017年度は、インド工場が10周年を迎えると共に長く懸案だった黒字化を達成する事ができました。特に主要顧客であるマルチスズキ様の好調な販売が追い風となりました。マルチスズキ様からはOverall Excellence賞を頂戴するという高いご評価もいただく事ができました。しかし、アメリカ工場での生産性改善がなかなか進まず、加えて一部の製品の生産終了に伴う売上減少も収益悪化の要因となってしまいました。2018年、年初より現地のスタッフに加えて日本からも技術者を派遣し、改善のためのプロジェクトを推進しております。栃木工場では、旺盛な需要に対応するための自動化ラインの導入遅れなどにより収益への影響がありましたが、既に自動化設備も整い生産性の改善も進みつつあります。中国では、特に合肥工場の受注増に対応するため鑄造工場の増築が完了しました。加工工場の増築も今秋までに完了する予定で進めております。

#### Q2 持続的な成長のために、どのような活動を行っているのかお聞かせください。

10年ビジョンに向け、営業力の強化、ものづくりにおける品質、生産性の向上など1618中期経営計画の推進を積極的に行っています。また、環境負荷の低減活動、地域社会への貢献活動なども積極的に推進しています。

10年ビジョン「信頼を究めよう 2025」に基づき現在1618中期経営計画を推進しております。安全はもちろんの事、売上げ拡大のために北米と中国にて営業力の強化を進め新しい顧客の獲得も徐々に進んでおります。ものづくりにおいては、品質・生産性の向上を目指して日本、北米、アジアの三地域での定期的な評価会などを通じて全拠点での推進を積極的に行っております。更にISO14001に基づいた環境負荷低減活動では、CO<sub>2</sub>の排出量、廃棄物、水資源の使用量の削減活動を進めております。また、地域社会への貢献活動も各拠点にて行い、里山づくりへの参画や地域の清掃活動など積極的に進めております。

#### Q3 2018年度で80周年を迎えます。今後の展望をお聞かせください。

今後は自動車部品でもダイカストの主要製品であるエンジンやトランスミッションとは異なる市場の成長も見込まれています。100周年に向け、その需要変化に対応するための準備も着実に進めています。

私たちの事業環境は、自動車の電動化に伴う内燃機関への影響で大きく変わります。ダイカストの主要製品であるエンジンやトランスミッションは電動化に伴い大きく減少しますが、当面は従来型のエンジンやトランスミッションに加えてハイブリッドやプラグインハイブリッドと言った内燃機関を持つ自動車の需要が増加していくと考えております。世界需要は現在の9千万台余りから1億台を超えるのもここ数年と言われています。それらの需要増加に伴いダイカストを用いるエンジン・トランスミッションの需要も増加します。更に、環境対応や電動化に伴う軽量化ニーズによるアルミダイカスト需要の増加も期待できます。アルミダイカストは、その軽量で生産性、リサイクル性に優れている点から電動化の中でも、エンジンやトランスミッションとは異なる市場の成長も見込まれております。80周年を迎え、更なる100周年に向けて私たちは、その需要変化に対応するための準備を着実に進めております。

皆様のご理解、ご支援を引き続きお願いいたします。

代表取締役社長

2018年6月

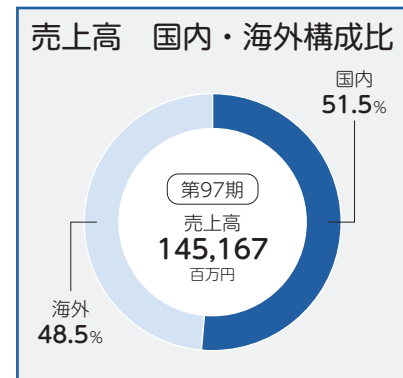
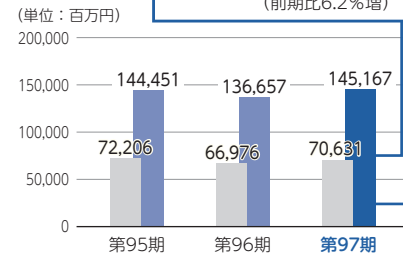
高橋 新



# 期末決算ハイライト

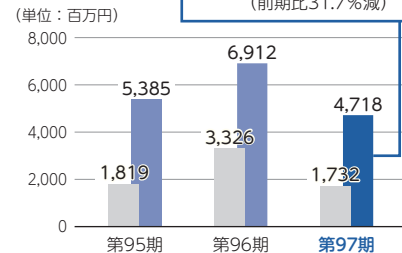
## 連結決算ハイライト

**売上高** **145,167**百万円  
(前期比6.2%増)

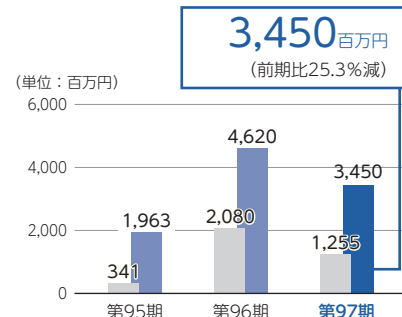


(注) 過年度決算に関し会計上の誤謬が判明したため、当該誤謬の訂正後の数値を記載しております。

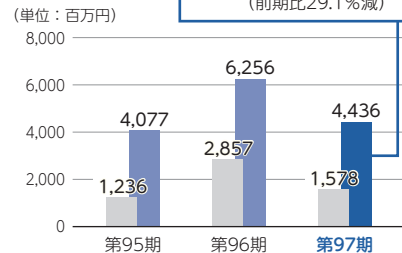
**営業利益** **4,718**百万円  
(前期比31.7%減)



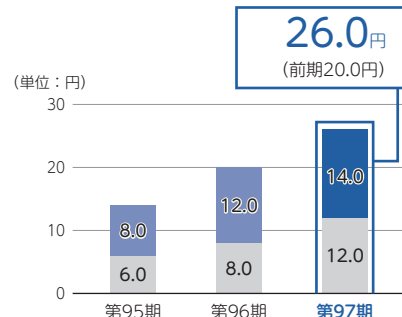
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



**経常利益** **4,436**百万円  
(前期比29.1%減)



配当金の推移



## 主要連結財務データ

	第94期 2015年3月	第95期 2016年3月	第96期 2017年3月	第97期 2018年3月
売上高 [百万円]	138,727	144,451	136,657	145,167
営業利益 [百万円]	2,521	5,385	6,912	4,718
経常利益 [百万円]	1,622	4,077	6,256	4,436
親会社株主に帰属する当期純利益 [百万円]	332	1,963	4,620	3,450
1株当たり当期純利益 [円]	12.86	75.97	178.77	133.40
総資産 [百万円]	147,577	139,496	135,044	138,998
純資産 [百万円]	60,849	59,262	62,053	65,439
1株当たり純資産 [円]	2,351.99	2,287.83	2,394.58	2,522.55
年間配当 [円]	12.0	14.0	20.0	26.0

(参考) EBITDA 2018年3月期 19,617百万円、2017年3月期 20,693百万円 (\* EBITDA=営業利益+減価償却費)

(注) 過年度決算に関し会計上の誤謬が判明したため、当該誤謬の訂正後の数値を記載しております。

## 期末決算のポイント

売上高1,451億円(前期比6.2%増)、営業利益47億円(前期比31.7%減)

### 【売上動向】

日本の北米、アジア市場向けを中心とした堅調な自動車輸出、中国でのSUV増産などによる日本、アジアを中心とした受注量増加に加え、アルミ地金市況の上昇もあり、売上は増加しています。

### 【利益動向】

インドの黒字化、中国の生産性改善などによりアジアは増益となるものの、栃木工場、アメリカ工場での生産性改善の遅れ、価格改定の影響等により連結全体では減益となりました。

米国、メキシコにおいて法人税等調整額が減少し、親会社株主に帰属する当期純利益の減益幅は経常利益に比べ縮小しました。

## 来期の見通し

【売上】 連結売上高予想 1,520億円

- ダイカスト事業は、アジアを中心とする好調な受注が見込まれ、売上高増加の計画としています。
- 完成品事業においては、受注状況から若干の売上減となる見込みです。
- 為替レートは、110.0円/米ドル、16.0円/元、1.75円/インドルピー、19.0メキシコペソ/米ドルとしております。

【利益】 連結営業利益予想 58億円

- 生産性改善、原価低減活動等により1,081百万円の増加を見込んでいます。

## (ご参考) 中期経営方針

10年ビジョン

信頼を究めよう 2025

ありたい姿

- お客様からの信頼No.1
- グローバルで車の軽量化に役立つ
- 売上高2000億円+α

1618中期経営計画

大型高難易度製品の顧客評価No.1を実現する

ものづくりを究める

生きいきと活動する会社を築く

収益力を高める

リスク管理を徹底する

## 当社IRサイトで決算説明資料を掲載しています

機関投資家向けに開示している決算説明資料、参考資料などを掲載しております。本冊子と併せてご参照ください。



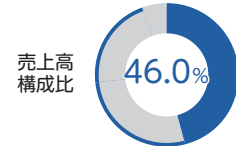
<https://www.ahresty.co.jp/ir/irreport/irreport05>



# 事業別の概況

## ダイカスト事業

### 日本

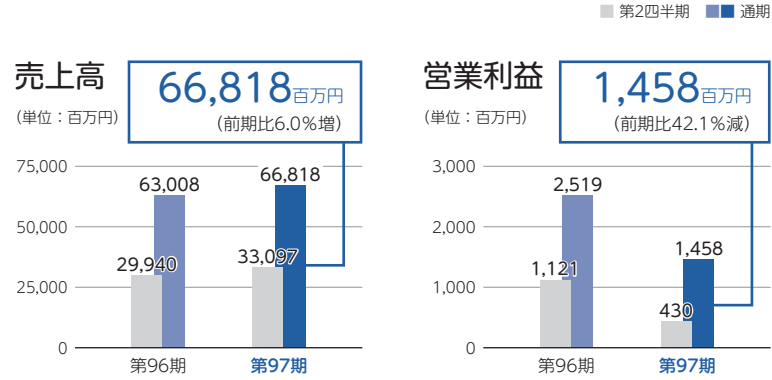


#### 売上高

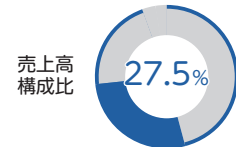
- ・前年の熊本地震による生産減の反動、堅調な北米、アジア向け輸出等により受注量が増加
- ・アルミ地金市況の上昇も影響し売上が増加

#### 営業利益

- ・栃木工場における自動化ライン導入の遅れ、燃料費等の増加により減益



### 北米

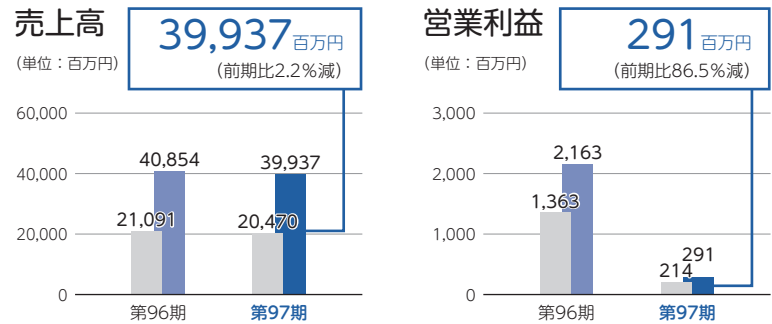


#### 売上高

- ・米国はダウンサイジング等の影響を受け受注減
- ・メキシコでは新規部品の立ち上がり及び量産本格化により受注量が増加

#### 営業利益

- ・米国は売上減少と生産性改善の遅れにより減益
- ・メキシコは販売増による増益を燃料費増等が打消し
- ・ペソ高ドル安による労働者分配金 (PTU) の増加も影響



### アジア

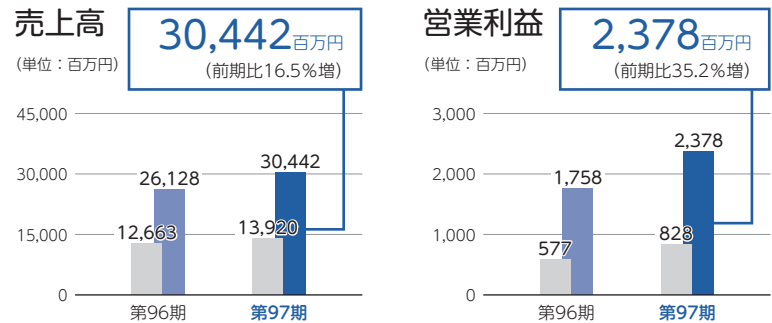


#### 売上高

- ・中国はSUV増産等により受注量は好調に推移
- ・インドも自動車市場が好調を維持し、受注増により売上が増加

#### 営業利益

- ・受注の増加により増益
- ・中国の生産性改善も収益に貢献



## ダイカスト事業

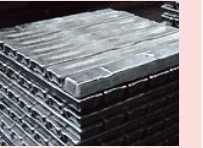
70年以上のたゆまぬ研究開発で育んできた高い技術により、自動車のエンジン、トランスミッションなどを中心に様々なダイカスト製品を製造・販売しています。



ダイカスト製品の特徴は、生産性の高さと寸法精度に優れており鑄肌が美しいことです。その特徴を活かし、複雑な形状で大量生産が必要な自動車部品などに多く用いられています。

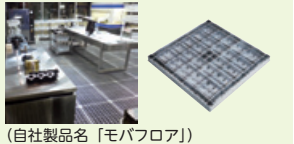
## アルミニウム事業

缶、サッシ、自動車スクラップなど多様な原料をもとに、厳しい管理のもと、品質の優れたアルミニウム合金地金を製造・販売しています。



## 完成品事業

フリーアクセスフロア (配線・配管を床下に収める2重床システム) のアルミニウムダイカスト製フロアパネルを製造・販売しています。



## アルミニウム事業

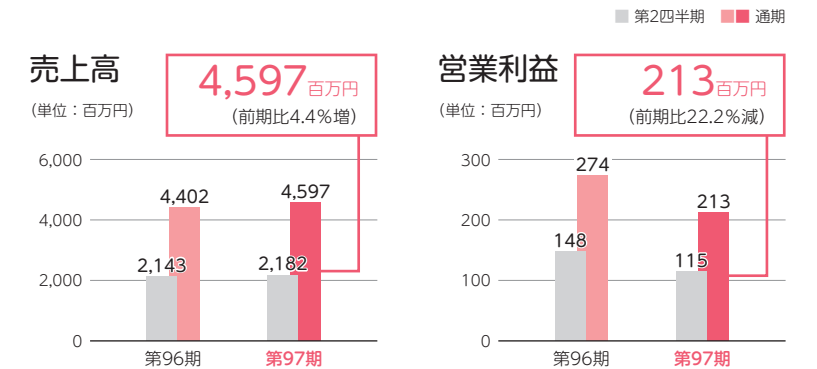


#### 売上高

- ・販売量は減少したもののアルミ地金市況変動の影響を受け増収

#### 営業利益

- ・原価低減活動を推進するも、原材料費と燃料費の価格上昇等の影響により減益



## 完成品事業

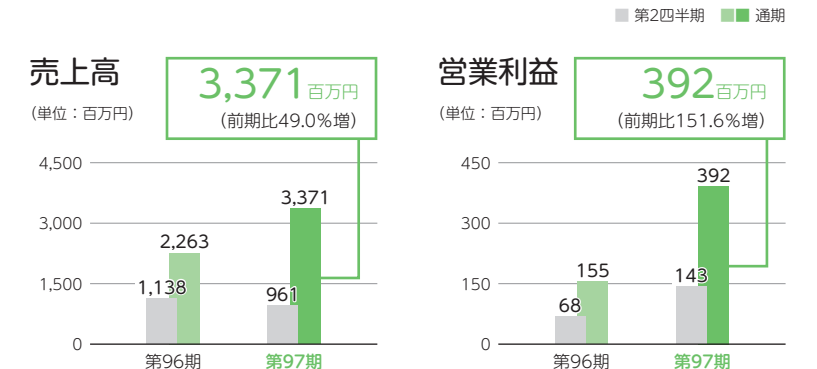


#### 売上高

- ・半導体関連企業のクリーンルーム物件、通信会社のデータセンター向け物件等の受注が増加し大幅増収

#### 営業利益

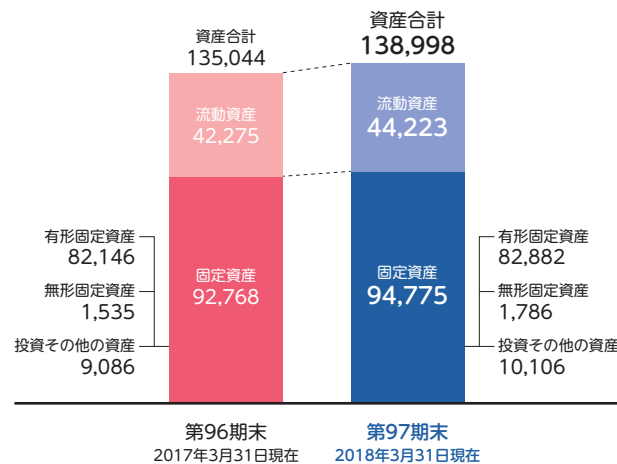
- ・売上の増加、原価低減活動等により増益



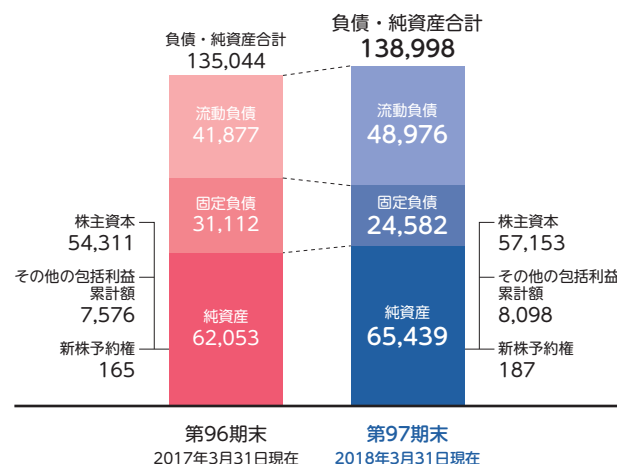
# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表の概要

資産の部 (単位: 百万円)



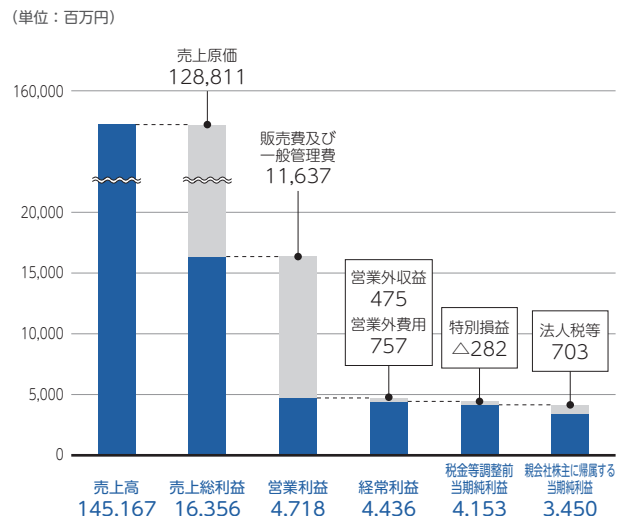
負債・純資産の部 (単位: 百万円)



(注) 過年度決算に関し会計上の誤謬が判明したため、当該誤謬の訂正後の数値を記載しております。

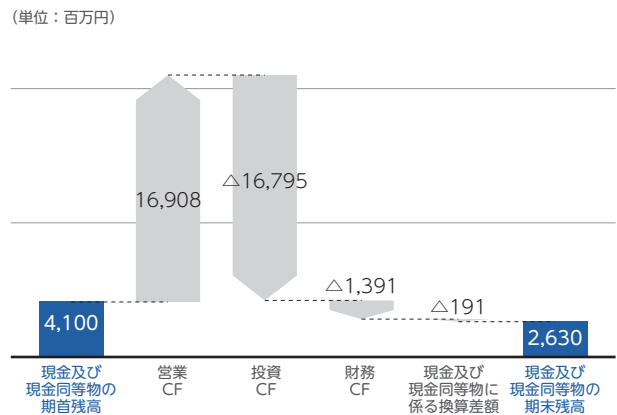
## 連結損益計算書の概要

第97期 2017年4月1日から2018年3月31日まで



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

第97期 2017年4月1日から2018年3月31日まで



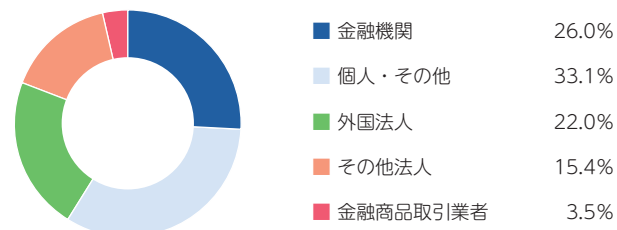
# 株式の状況

## 株式数及び株主数

(2018年3月31日現在)

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	26,027,720株
株主数	5,904名

## 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel 0120-232-711 (平日9:00-17:00) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.ahresty.co.jp">https://www.ahresty.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

## お知らせ

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 大株主（上位11名）

(2018年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	1,176	4.5
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	948	3.6
高橋 新	915	3.5
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/ACCT BP2SDUBLIN CLIENTS-AIFM (常任代理人 香港上海銀行)	668	2.5
日本軽金属(株)	657	2.5
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ)	607	2.3
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口9)	595	2.3
アールスティ取引先持株会	591	2.2
スズキ(株)	565	2.1
株式会社ほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行(株))	544	2.1
株式会社三菱東京UFJ銀行	544	2.1

- (注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 持株比率は自己株式（160,364株）を控除して計算しております。また、小数点第1位未満を切り捨てて表示しております。  
3. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、2018年4月1日付で株式会社三菱UFJ銀行に商号変更しております。

## ホームページのご案内

当社ホームページ「株主・投資家情報」では、株主の皆様へ最新情報をお届けしております。併せてご覧ください。



トップページ

「株主・投資家情報」ページ

<https://www.ahresty.co.jp>



# アールステイ インディア

## —10周年を迎えて—

2007年1月、米国、中国・広州、メキシコに次ぐ4番目の海外ダイカスト製造拠点として、インド北西部、ニューデリー近郊に「アールステイ インディア」を設立。世界第4位の自動車マーケットとなったインド市場と共に、ダイカスト事業の拡大と当社のグローバル競争力の強化に向け、日々成長と発展を続けています。



写真：2018年3月に行われた10周年記念式典・祝賀会にて

### Ahresty India Private Limited 基本情報

- ・設立：2007年1月
- ・事業内容：ダイカスト製品製造・機械加工・部品組付
- ・月産能力：1,000tons
- ・敷地面積：58,500㎡
- ・住所：Plot No-194, Sector-4, Phase II, Growth Centre, Bawal, Dist. Rewari, Haryana, INDIA







## ■ 会社概要

(2018年3月31日現在)

商号	株式会社 アーレスティ
設立	1943年11月2日
資本金	69億3,909万円
従業員数 (単独)	928名
企業集団の従業員の状況	従業員数
	ダイカスト事業日本 2,213名
	ダイカスト事業北米 2,742名
	ダイカスト事業アジア 2,146名
	アルミニウム事業 53名
	完成品事業 27名
	全社 (共通) 87名
	計 7,268名

## ■ 取締役

(2018年6月20日現在)

代表取締役社長	高橋 新
取締役	伊藤 純二
取締役	高橋 新一
取締役	蒲生 新市
取締役	金田 尚之
取締役	野中 賢一
取締役 (監査等委員)	石丸 博
社外取締役 (監査等委員)	早乙女 唯夫
社外取締役 (監査等委員)	志藤 昭彦
社外取締役 (監査等委員)	塩澤 修平
社外取締役 (監査等委員)	早乙女 雅人



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。